

平成30年度第1回平塚市下水道運営審議会 会議記録

日 時 平成30年7月23日(月) 10:00～11:20
場 所 平塚市役所本館5階519会議室
出席委員 栗原会長、宮林会長職務代理者、野崎委員、出村委員、西田委員、関委員、大伴委員、田下委員、石黒委員(計9人)
事務局 土木部 佐野部長
下水道経営課 古矢課長、舩田課長代理、岡田課長代理、石橋担当長、岩崎主管、加藤主査、関主任、伊豆主事
下水道整備課 石井課長、阿部課長代理(計11人)
傍聴者 0人

(議題)

- (1) 平成29年度平塚市下水道事業決算(速報値)の概要について
- (2) その他
 - ・平塚市下水道事業経営戦略の策定の進捗状況について
 - ・平塚都市計画下水道事業受益者負担金について

配布資料

- 資料1 平成29年度平塚市下水道事業 決算(速報値)の概要等
資料2 平塚市下水道事業経営戦略 策定の基本方針について

- 開会に先立ち、石黒副市長からの委嘱状交付及び挨拶
- 会議の公開について事務局から説明
- 委員及び事務局の紹介

会長及び会長職務代理者の選任のため、土木部長による議事進行。
会長に栗原委員、会長職務代理者に宮林委員を選任。就任にあたり、会長及び会長職務代理者それぞれ挨拶。

これより会長による議事進行。

会長

まず、議題の（１）からになります。

「平成２９年度平塚市下水道事業 決算（速報値）の概要等について」、事務局から説明をお願いいたします。

（１）平成２９年度平塚市下水道事業 決算（速報値）の概要等について
事務局(下水道経営課担当長)

下水道事業決算（速報値）の概要について、資料１をもとに説明。

会長

皆さんの方から、何か今の説明に対して、質問あるいはご意見等ございましたらどうぞ。

委員

繰入金無しで、使用料で独立採算という理解でよいのか。

事務局

一般会計からの繰入金は約３８億円あります。

委員

雨水の処理に一般会計を充てているという理解でよいか。

事務局

基本的に雨水公費ですが、汚水にも一部公費を投入しています。

委員

経費回収率は、こういう計算方法でよいのか。

事務局

汚水使用量を積み上げて、汚水でも一部公費で見ているところもあるのでその分を抜いた汚水使用量と、使用料の数字を使っています。これは全国統一の算出方法で、今後、経営戦略策定の中で他市との比較検討を行い、本市の立ち位置を確認してまいりたいと思います。

委員

経営状況を把握するには、一般会計からの繰入があると明記したほうが

よいのではないか。

事務局

今回は速報値ですが、今後の正式資料にはそれを含むことになります。

会長

その他の方、何かご質問はあるでしょうか。

委員

経営指標の営業収支比率が下がっているが、このまま下り放しでもよくないだろうから、どこかで数値をキープしていくのか。

事務局

まだ2ヶ年度しか数字が出ていないので、これからもっと数字の積み上げが必要ですが、県内の同規模自治体間での比較では経常収支比率は本市が最も良く、営業収支比率では中ほどです。今後、他市との比較を行い、経営戦略策定にも役立ててまいります。

会長

その他の方、何かご質問はあるでしょうか。

委員

速報値の資料は、会議当日でないといただけないのか。企業会計は複雑なので、いきなり見ても理解できず、事前に見ていれば質問も考えやすい。あと、平塚市の立ち位置という話がでてきたが、具体的な他市との比較資料が添付されるとよい。

事務局

速報値は、今回は遅れてしまいました但本来は事前にお示しするものでしたので、次回以降そのようにいたします。また、他市の直近年度資料は公表されていないので、その前年のものをお示しすることになります。

会長

その他の方、何かご質問はあるでしょうか。

ないようでしたら、議題の(1)は、終わりとし次に移りたいと思います。

(2) その他 ・平塚市下水道事業経営戦略の策定の進捗状況について

事務局（下水道経営課課長代理）

平塚市下水道事業経営戦略の策定の進捗状況について、資料2をもとに説明。

会長

ご説明いただきましたけども、皆様の方から何かご質問があれば。

なければ私から。都市下水道の配管がもう50年以上たって、ボロボロのものもあるといわれている。それに起因する道路の陥没事故も全国で発生しているが、平塚市では管の耐久性等の問題はどうか。

事務局

公共下水道管で敷設されてから50年以上経つものはさほど多くなく、破損のある管も少なく、全国の自治体を見ているコンサル会社からもまず良好な状態であるとの評価をいただいています。また、昭和50年代から平成初期のうちに敷設されたものは塩ビ管で、それらの損傷はありません。雨水管については古くて状態の悪いものもあるため、随時修繕対応も行っており、これらの状況から、本市では道路陥没等に至るような事態はごく稀です。

委員

集中豪雨への新たな対応というのは、どのようなものか。

事務局

ハード的な、構造物を作る等の対応は難しいのが現実で、土のうステーションの活用や、避難方法等の広報・周知といった、下水道部門ではない対応になります。

委員

ごもっともだが、「新たな」というのは書きすぎとも思える。

会長

その他の方、何かご質問はあるでしょうか。

委員

千年に一度といわれるような豪雨が、今や毎年のように来てしまう中で、他市の先に行く、先手先手の対応は下水道においても必要で、今後、10年計画を立てるなら、市民の心配を先取りした計画になることを願っている。

事務局

ハード面での大雨対策は、完成に何年も要することを考えれば、限界があります。公助・共助・自助を組み合わせながら、少しでも被害を軽減する、いわゆる「減災」を進めていくしかなく、これは土木部だけでなく防災危機管理部とも連携しながら進めていくことです。

会長

西日本豪雨の後、私の地元でも住民の意識・関心が明らかに変わってきたのを実感している。市も住民も、認識を共有しながら対策を講じていくことが大切だ。

委員

財政シミュレーションの中では、人口減のことをどれほど見込んでいるのか。人口減に見合った使用料の値上げがあり得るとしても、それは住民サービスへの悪影響になる。

事務局

楽観的・中間・悲観的の3パターンで、コンサル会社の専門的な視点で検証を行っています。

会長

その他、何かご質問はあるでしょうか。

委員

経営戦略の策定は、平成28年の総務省通知以降、この審議会でも報告・審議を繰り返してきて今に至っているということか。

事務局

そのとおりです。

委員

「経営戦略の背景」に記載された内容を、受け取る側は文字通り期待してしまうと思うが。

事務局

集中豪雨への対応の部分など、書きぶりを今後検討する箇所はございません。

会長

他にございますか。

委員

以前（平成26年度）、岡崎の西海地地区を視察したことがあったが、他にも同様の箇所があれば計画の中に入れていただけるとよい。

会長

ありがとうございました。

その他、何かありますでしょうか。ないようでしたら、「その他」のもう1項目を事務局お願いします。

- ・平塚都市計画下水道事業受益者負担金について

事務局（下水道経営課担当長）

平成29年度第2回審議会にて諮問し、「異議なし」として決定した件のその後の進捗について、口頭にて説明。

答申書では、当該住民への影響が大きいことから、十分な周知期間を設けて丁寧な説明をすること等、適切な対応をするよう要望された。答申を受け、平成29年平塚市12月議会定例会に関係条例の改正案として上程し、原案どおり可決・成立している。その後、土地区画整理組合との協議を経て、本年2月に同組合総会において内容説明。3月に市広報及びホームページに掲載するとともに、同組合だよりにも掲載させていただく等の周知を行い、本年度に入り、賦課通知の発送を滞りなく行ったところである。

会長

この件について、質問はございますか。

特になければ、事務局から最後にお問い合わせいたします。

事務局

第2回目の審議会は時期が未定です。決まり次第、御連絡させていただきます。

会長

よろしければ、これで終わりとさせていただきます。